

五省会ニュース

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

地域社会にとけ込む

西能病院

「信頼と奉仕」をモットーに、より新しく、より高度な医療の提供に努力を重ねている西能病院は、かねてから準備をすすめてきた「年中無休診療」を四月一日から実施することにした。これは日曜日や祝祭日も平日通りの診療を行なうもの。患者さんが必要な時、何時でも診療が受けられるように、患者さんのニーズに合わせて、地域社会に溶け込むためである。診療科目は整形外科と内科である。

年中無休の診療体制

日曜・祝祭日も返上
整形外科・リハビリテーション・内科

診療時間は、整形外科、内科とも共通。午前八時三十分から正午まで。午後は一三時三十分から一七時まで。日曜、祝日の診療のために出動するスタッフは医局(三人)看護部(四人)薬剤部(一人)医事課(二人)リハビリ(二人)レントゲン(一人)検査(一人)の計十四人である。

休日診療の実施にあたり、職員一同が全面協力し、スムーズな運用が約束されている。また、休日診療ということは社会一般の休日に職員が福利厚生面も考慮することになっている。

幅広い医療活動を

より満足してもらえぬために

勤務につく職員が増えるので、これを契機にして職員の福利厚生面も考慮することになっている。

勤務時間外は、二・五人に看護婦(一人)で手厚い看護を展開している。②他に先駆けて十年前から夕食時間を午後六時にしている。③調理には二人の栄養士のほか板前を入れ、選振メニューも取り入れるなど、美味しい温かい食事の提供に努力している。④患者さんを慰めるため、映画会や四季折々の催し物を行なっている。⑤ケイスワーカー(医療相談員)を配置して医療相談

愛される病院に

西能 正一郎

休日の外来診療に踏み切る

四月から 職員一同、奉仕の精神で

私が開業した二十六年前は、未だ整形外科の播磨時代で、最初は開店休業のような心もなない状態でありました。少しずつ増え始めた交通事故に、対応して救急車を準備したのがきっかけとなって、ようやく仕事らしい仕事をさせてもらえるようになり、経営が安定して参りました。

その時から診療時間も皆様来院される限りいつでも対応することをモットーにして来ましたが、医師数も少なく、手術にかなりの時間を取られ、その上救急患者の処置などが重なって昼も夜もない毎日でした。それでも来院される患者さんには「ご不便をおかけして来ましたが、

昨日の診療時間帯は、朝八時半から午前中と、午後は四時から七時までとし、更に急患は二十四時間受け入れる体制を敷いて長い間続いて来ております。夕方の時間帯を七時まで延長しております。

休日を利用して車で同伴して来られるためでありましよう。こんな状態が続いていふんになります。今頃まだ「土曜日の午後もやっているのか」と驚いたように聞き返されると、まだみなさんに知られていないかと、いささかびっくり致します。

週休二日制が定着し、国民の休日も少しずつ増えて来ますが、病気に休みはありません。いつでも良

い医療を受けられるというのが、日本の医療供給体制の優れたところであるといわれておりますが、現場に当たっている。地域活動としては①毎月一回、健康教室を開催、地域住民の健康増進維持管理のお手伝い②救護依頼へ積極的に対応している。③講演会を通じて保健活動にスポーツ医学に基づき少年スポーツへの協力④近く入浴車を出動、おたきり老人への入浴サービスなど。

大いに利用できる
地域の人が、大いに利用できますので、大変ありがたいことです。

(五福末広町内会長・堀田 直義さん)

すぐに診てもらえる
急に具合が悪くなっても、すぐに診てもらえますので、大変ありがたいことです。

(鶴島連合町内会長・稲垣 周治さん)

あすなろ

「五省」の第三番に「気力に欠けるなかりしか」とある。同じようにこの言葉を胸に抱いて生きてきた次のような体験談をおきたい▼筆者は名もなき四十四歳の女性である。夫が原因不明の病気で胸から腹にかけて切開手術をした。二か月後、もう一度やりたいといわれ再手術。ところが術後に腹膜炎を起こし二度目の手術になった。彼女は手術に耐えきれず、後悔した▼救いは夫が明るく平気で手術に応じてくれることだった。が、三度目の手術の朝、夫の枕元に夫の書いた「気力に欠けるなかりしか」の書を見つけた。見られたと知った夫は照れながら「僕の好きな言葉だ。本当は弱虫の僕を励ましてくれる言葉なんだ」といふ。夫は間もなく原因不明のまま死ぬ。遺言に従って遺体は解剖室へ運ばれた。その部屋の扉の前立ちつくして彼女は声をあげて泣く。その後急に体を突き抜ける孤独が押し寄せる。その中で彼女は「気力に欠けるなかりしか」と繰り返して

西能病院

二十六年の歩み

- 37年3月 富山市星井町40番地に西能整形外科医院を開設(収容施設10床)
- 38年10月 富山市五福1130に西能整形外科病院建設中(木造病棟)
- 38年12月 同病院完成、開設(18室47床)
- 39年5月 救急病院に認定
- 39年10月 病院第一期増築工事に着手(鉄筋コンクリート三階建て)
- 40年4月 第一期増築工事完成、開設(27室77床)星井町の院を廃止
- 43年8月 第二期工事完成、開設(34室116床)
- 44年7月 富山大橋橋脚底下に地鉄ビルに診療所開設
- 49年7月 外来患者累計50万人を突破
- 51年12月 入院患者累計50万人を突破
- 53年4月 形成外科クリニック開設(北里大学市田先生)
- 54年5月 内科外来の診療開始
- 54年10月 「医療法人財団五省会」の認可
- 56年3月 「特定医療法人」認可
- 56年5月 第三期増改築工事中
- 58年3月 第三期増改築工事完了。病床百八十五床
- 58年4月 内科を充実、内科病棟を新設
- 58年10月 集団給食部門で厚生大臣賞
- 58年10月 西能院長に厚生大臣賞、日本病院会での病院長の発展向上に努めた功績
- 59年9月 外来患者累計百万人突破
- 60年9月 地域住民のための健康教室を病院五階ホールで開催。毎月一回
- 61年4月 中国医科大学第一附属病院講師、医学博士、金明照氏(四一)が西能病院に研修留学。
- 61年7月 西能院長が厚生省の新医療審議会の委員に選出。
- 61年9月 入院患者累計百万人を突破
- 61年11月 米国セントルイス病院外科部長のL・Aホワイトサイド博士が、西能病院で同博士開発の画期的なセメントレス人工関節節置換術を。
- 61年12月 基準看護特二類実施承認。
- 62年3月 富山市電気ビル五階ホールで開院二十五周年記念式典。富山県民会館大ホールで竹村健一、行天良雄両氏の記念文化講演会。
- 62年4月 地域医療チームを編成、在宅療養活動を開始。
- 62年4月 スポーツ外来開設(毎週火曜日)西能副院長が担当。
- 62年10月 富山医薬大附属病院から星野清医師(内科)が就任。

五省
一 至誠を信るなかりしか
一 言行に恥づなかりしか
一 気力に欠けるなかりしか
一 努力に憾みなかりしか
一 不精に負るなかりしか

健康法の問題

矢野 三郎

食事療法だけでは難しい

コレステロールの研究は進んでいるが

たいていの人は「血液中のコレステロールが高...」

広瀬 正一 (五八) 富山市布瀬町



広瀬 正一 (五八)



田谷 美智子 (五三)

田谷 美智子 (五三) 富山市布瀬町

感激の念で一杯

上下一帯の美しい輪

朝の打ち合わせが終わる、小走りで行く看護婦さん...

楽しかった月見や紅葉狩り 入院生活に夢と希望

西郷長さん、十日間食べても... 入院生活に夢と希望



「絵は、子供の情操教育に最適です」と大谷さん。

わたしはこう思う

大谷和子さん (大谷美術学園校長) の話を聞いて...

大谷 絵が上手い... 弟がみんな絵とか書きたがる...

大谷 絵が上手い... 弟がみんな絵とか書きたがる...

大谷 絵が上手い... 弟がみんな絵とか書きたがる...

3月21日 開院二十六周年記念式

勇気をもって前進しよう

西能病院の開院十六周年記念式は、三月二十一日午前十一時から五時...

西能病院のあゆみ

病棟の職員は、コンピュータリターはなんでも早くや...

手ごつたコンピュータ

光里 木下さん、外来医部門に設置したコンピ...

出 席 者

▽元勤務者 田舎秀雄 松倉信治

思 い を 語 る

木下 木下さん、私は一応...

看護婦を抜かれた

田勝美、石倉喜一

負けてたまるか

木下 ハイ、その席上...

指揮官の責任

院長 ひとこといって...

多いボーナスに

三ツ松 十月に入った...

ガゼ洗いは

各川 私は学生で入った...

多岐にわたる

三ツ松 十月に入った...

忍耐・集中力の養成に最適

不器用の90%は親の責任

Advertisement for '忍耐・集中力の養成に最適' with illustrations and text.

大谷 一枚の絵を仕上げると、泣いてもはげ...

わたしはこう思う

昭和63年3月21日

新しい息吹きを

入院生活に「潤い」 心のこもったイベントで

看護部



たびたび開催する看護部研修会

基準看護特二類の承認を得て、一年余を経過した。患者さんの御世話は私共におまかせ下さい」という体制はできあがった。看護部は全職員の半数以上を占める八十八人がそのメンバーだ。四月に八人の新採用者を迎え、

①

そのエネルギーの源泉となる。その為にも、看護本来の仕事をみなおしレベルアップのための院内研修を週二回、院外研修は年間一人一回の参加を実施した。その甲斐あって、学会に看護研究を五題発表することが出来た。

看護活動は外来・入院患者さんの看護。昨年からは急性期・慢性期病棟の編成により、慢性病棟ではイベントを企画し、単調な入院生活を「潤い」に取り組んでいる。また保健婦を採用し訪問看護在宅ケアもすすめている。地域住民への働きかけとして健康教室を開催している。救護活動として、スキー・スポーツ大会・研修旅行に看護婦を派遣している。



貯湯タンクを調節する地域医療チームの安川オペレーター

富山市民健康センターに協力 専用入浴車、四月から出動

昨年十二月、24時間「レビ」（愛は地球を救う）チャリティー委員会から西能病院に贈られた善意の入浴専用車は、同病棟の地域医療チームが担当、着々準備を進めており、四月ごろから入浴福祉の無料サービスに出動する予定である。

この入浴車には三十分で湯が沸く貯湯タンク（後から富山市民健康センター）が入浴専用車を持ちこみ、保健婦さんたちに整備や構造などについて説明した。これは、同センターが現在、折りたたみ式携帯用の槽を使っ

てやく二十人に入浴サービスをしている。そこでこの便利な入浴車を協同で活用しようというもので湯が沸く貯湯タンク（後から富山市民健康センター）が入浴専用車を持ちこみ、保健婦さんたちに整備や構造などについて説明した。これは、同センターが現在、折りたたみ式携帯用の槽を使っ



浴槽をかこんで安川オペレーターの説明を聞く保健婦さんたち

病院だより

一月



四日「仕事始め。院長

が「団結してがんばろう」と年頭所感（写真①）午後五時から五階ホールで新年互礼会。十日「牛岳スキー場の救護所開設。十二日「小会議室で誕生会、十五人出席。十六日「新成人の佛田優子、日又映子、坂下栄子、舟見香織の四人に院長から記念品を贈呈。十七日「ふれあい劇場「男はつらいよ」五階大ホール。

新成人に記念品

十六日「新成人の佛田優子、日又映子、坂下栄子、舟見香織の四人に院長から記念品を贈呈。

二月

二十三日「五階大ホールで健康教室。井上千恵子栄養士の「高血圧と食事について」二十五日「院長が県民会館で「88生涯生活設計セミナー」で講演。「心身の健康」四日「副院長がNHKラジオで「スポーツ障害について」解説。九日「小会議室で誕生会、十人出席。十一日「互助会が牛岳スキー場でスキー教室。職員、家族ら五十人が参

互助会でスキー教室

加。（写真左）

三月

十四日「院長が滑川市浜加積公民館で講演。「四十代の健康について」二十日「五階ホールで健康教室。西能副院長の「市民スポーツの障害について」二十一日「ふれあい劇場「水戸黄門」。五階大ホールで。

少年スポーツの指導

四日「西能副院長が富山市体育文化センターで「スポーツ医学に基づく少年スポーツの指導について」講演。（写真左）

西能副院長が講演

四日「西能副院長が富山市体育文化センターで「スポーツ医学に基づく少年スポーツの指導について」講演。（写真左）

四日「六日」県総合体育センターなどで開かれた第21回全日本バレーボール選抜男子リーグ大会に救護班を派遣。

八日「小会議室で誕生会、十七人出席。十一日「院長が県民会館で「88生涯生活設計セミナー」で講演。十三日「ふれあい劇場「男はつらいよ」十九日「健康教室、富山医薬大の加藤弘巳先生が「胃ガンについて」今年一月から三月二十日までに入った新職員。五十嵐昌子（栄養部）川上まゆみ（看護部）石橋富美子（職員寮）

休日返上の診療体制

休日の診療科目	曜日	午前の部	午後の部
整形外科科 リハビリテーション科 内科	日祝祭日	8:30 ~ 12:00	13:30 ~ 17:00
平日の診療科目	曜日	午前の部	午後の部
整形外科科	月～土	8:30 ~ 12:00	16:00 ~ 19:00
リハビリテーション科	月～土	8:30 ~ 12:00	13:30 ~ 19:00
内科	月～土	8:30 ~ 12:00	15:00 ~ 17:00 (火・金曜日は15:00～19:00)
スポーツ外来	毎週火曜日	※スポーツ障害の治療やスポーツ相談	
神経内科外来	毎週木曜日	14:00 ~ 17:00	
呼吸循環器科外来	毎週金曜日	※心臓病疾患、腎臓疾患でお困りの方はご利用下さい。	
泌尿器科外来	毎月第2・第4土曜日	13:30 ~ 17:00	
形成外科	毎月1回	8:30 ~ 12:00 ※診療日は受付でおたずねください	
在宅療養活動	毎週水曜日	※(在宅酸素療法を含む)	



整形外科科
リハビリテーション科
内科

365日

年中無休です



もし、救急車が必要でしたら、連絡して下さい。お迎えに上ります。常時2台待機しています。